





E お手入れ方法

いつまでもご愛用いただくために、日頃のお手入れは次のことに注意してください。









- ◆御使用後は本体に水滴が残らないように乾拭きをして下さい。
 - ・汚れがひどい時は適度に薄めた中性洗剤でお手入れし、洗剤が残らないように洗浄して下さい。
- ◆水栓の表面を傷つけるおそれがある次のものは使用しないでください。
 - ・磨き粉等の粒子を含んだ洗剤（研磨剤入り洗剤）
 - ・シンナー、ベンジン等の溶剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシ等

F 安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果（傷害・物損）を生む事柄です。安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

用語および記号の説明	
注意 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか物的損害が発生する危険な状態が想定されます。	
 …… 「注意してください！」上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。	 …… 「指示した場所に触れてはいけません！」
 …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）	 …… 「指示通りにしてください！」（一般的な行動指示記号です。）

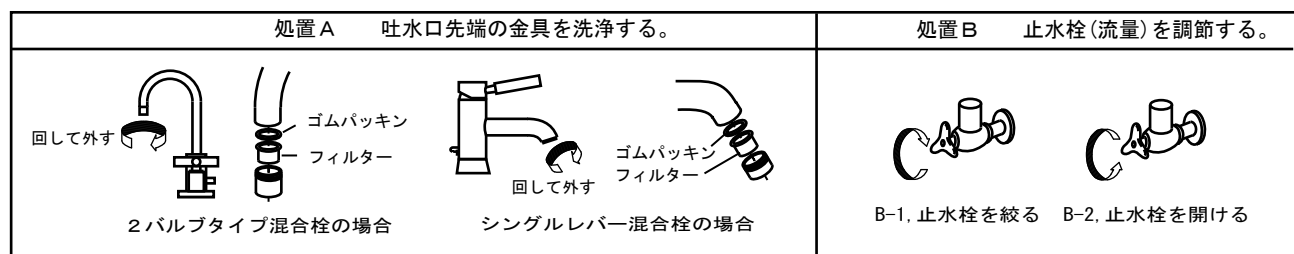
使用上の注意事項

 注意	
 高温の湯をお使いの時には吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。	 本製品と同時に他の水栓設備を御使用になる場合は、水圧変化により高温のお湯が出る場合があります。やけどをする恐れがありますのでご注意下さい。
 高温の湯をお使いの後は器具内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	 (寒冷地で御使用の場合) 凍結が予想される際は配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。 凍結破損で漏水し家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 湯を止める時は必ず湯側のハンドルから閉めてください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	 急なハンドル操作は配管からの漏水を起こす事がありますのでゆっくり操作してください。 漏水で家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 湯をお使いになる時は、必ず水側から開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。	●漏水した場合の処理 漏水した場合は元栓または止水栓を閉めてください。 ポンプをお使いの場合はポンプを止めてください。 修理に関しては必ず専門の業者に依頼をしてください。

G 修理を依頼される前に

異常を感じたら修理を依頼される前に下記の事項をご確認ください。
次の事項をご確認をされても直らない場合は、取付工事店または当社までご相談ください。

現象	調べて頂くところ	処置
・吐水量が少ない。 （少なくなってきた）	1. 吐水口先の金具にゴミや水アカがつまっていないか? 2. 止水栓を絞り過ぎていないか?	A B-2
・温度調節がうまくいかない。 ・水、または高温の湯しか出てこない。	1. 吐水口先の金具にゴミや水アカがつまっていないか? 2. 止水栓が付いている場合、湯または水の止水栓を適度な状態に調整する	A B-1 B-2
・水の量が多すぎて使いづらい。また使用時に高い音がする。	1. 止水栓が付いている場合、止水栓を適度な状態に絞る。	B-1



製造元



ドンブラハ社（ドイツ）

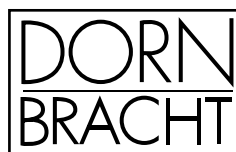
輸入総代理店



株式会社 **リライアンス**
 〒106-0031 東京都港区西麻布3-16-28 製品についてのお問い合わせは
 ルベイン霞町
 ・TEL 03-3479-9202~4
 http://www.reliance.co.jp ・FAX 03-3479-9200



施工・取扱説明書



MEM デッキ型バスシャワーセット

該当品番	例外商品
13.512.780.xx	
27.532.780.xx	
27.708.780.xx	
27.542.780.xx	

A 施工方法

◇本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。

◇この説明書に記載されていない方法で施工が行われ、それが原因で故障等が発生した場合は、製品の保証にはいっさい応じかねます。

◇施工完了後、必ず通水試験を行い正常に機能することを確認するとともに、この説明書にそってお客様に使用方法及びお手入方法を説明してください。またこの説明書は、ご使用になるお客様に保管して頂いて下さい。

◇取り付け及びメンテナンスの為、点検口を設けて下さい。

B 使用条件

- 最低使用圧力 0.1MPa
- 最高使用圧力 0.5MPa
- 推奨使用圧力 0.25MPa~0.5MPa
- 最高使用温度 80℃

◇給水圧力が0.5MPaを超える場合は、減圧弁などで適正圧力に減圧して下さい。

C 取付手順

1. 取付寸法の確認

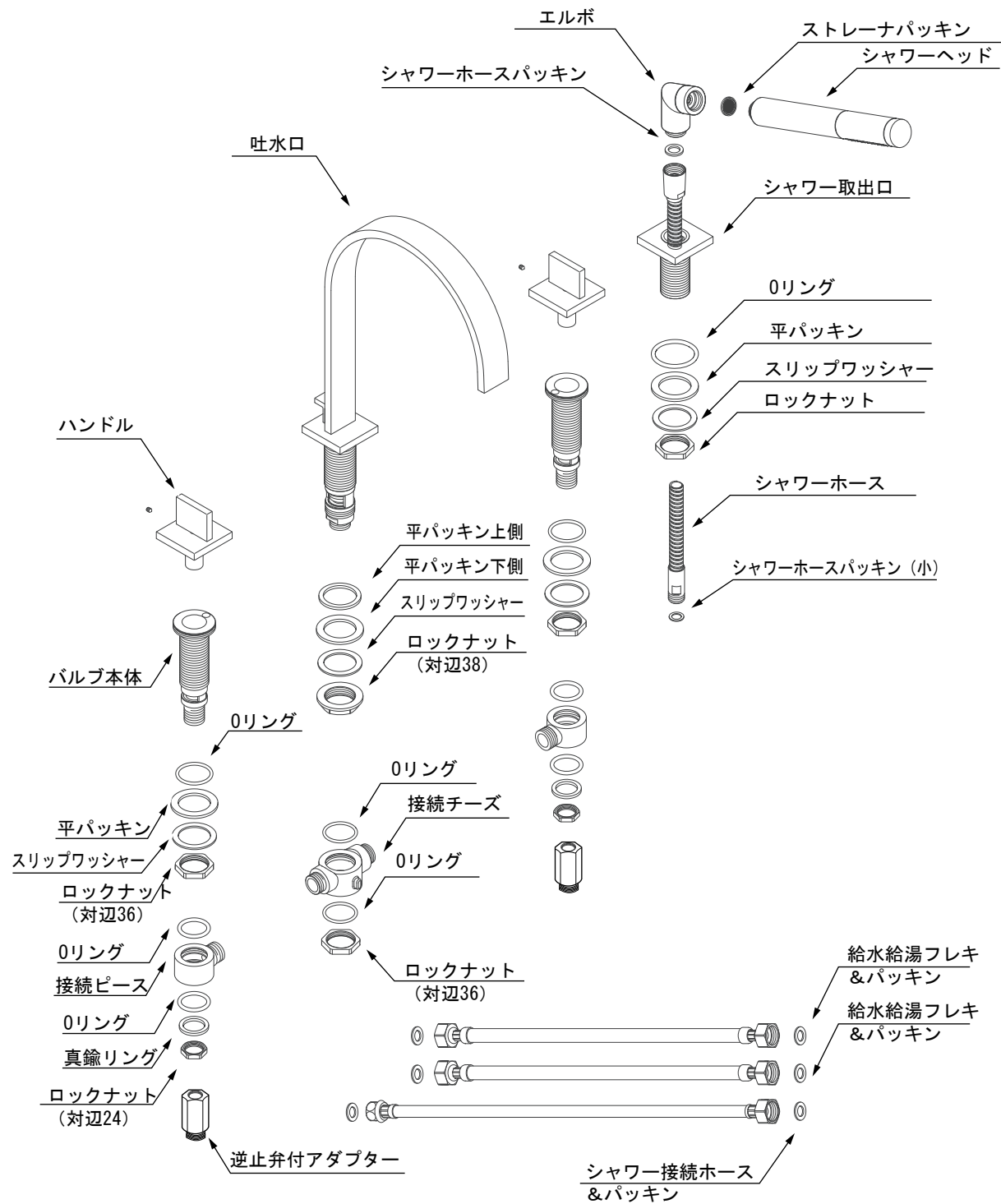
取付穴径 : φ35 (吐水口部、バルブ部、シャワーヘッド部共に)
取付ピッチ : 110mm

2. 給水管内の清掃

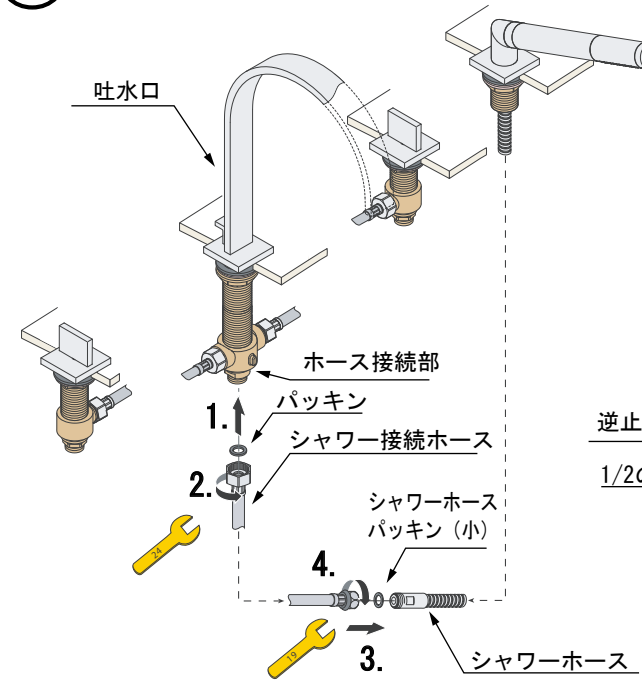
・配管工事後、必ず給湯・給水管内のごみなどを十分に洗い流してください。

3. 部品確認

・取付けを行う前に下図の部品展開図と梱包内容を照合し、部品不足がないか確認して下さい。



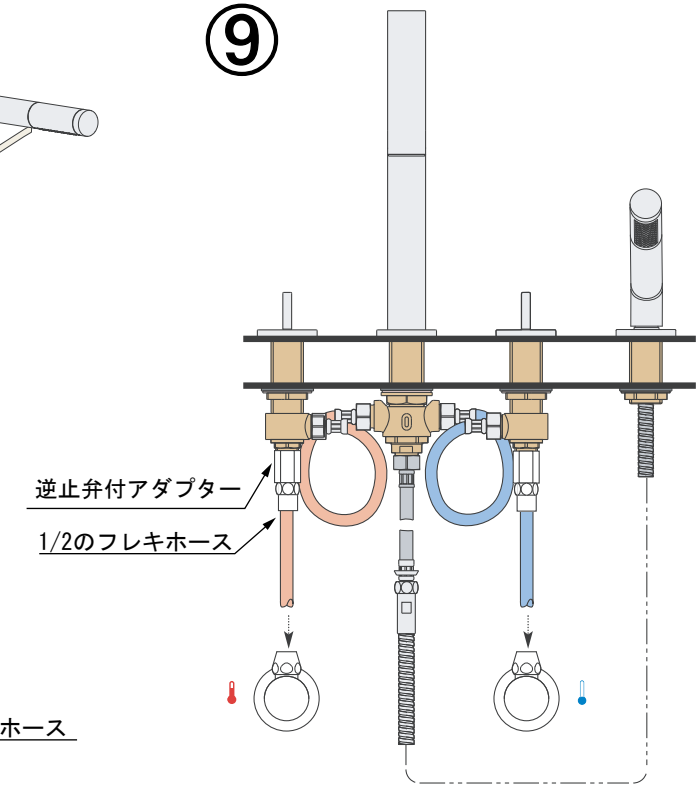
⑧



⑧ シャワーホースの接続

- (1) 吐水口下部のホース接続部にシャワー接続ホースをパッキンをはさんで確実に取付けます。
- (2) ⑤で取付けたシャワーホースとシャワー接続ホースをシャワーホース接続パッキン (小) をはさんで確実に固定します

⑨

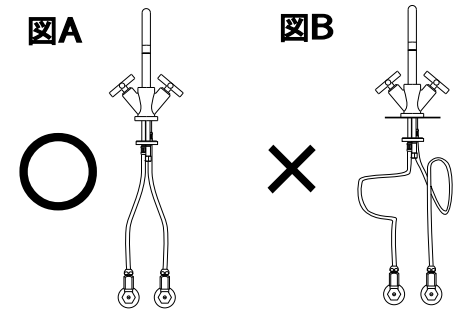


⑨ 給水給湯の接続

バルブ下部に同梱の逆止弁付アダプターを取付け、市販の1/2のフレキホース等を用いて湯水の接続を行って下さい。接続後、水栓及び接続各所から水漏れ等がないか、十分に確認し作業を終了して下さい。

5. 取付時の注意

接続の際は適切な工具 (スパナ等) で締め付けて下さい。締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにして下さい。水漏れ、配管抜けの原因となります。フレキホースを上引っ張って抜けないことを確認して下さい。図Aのような配管にしてください。図Bのような無理な配管をしないで下さい。水漏れ、配管抜けの原因となります。

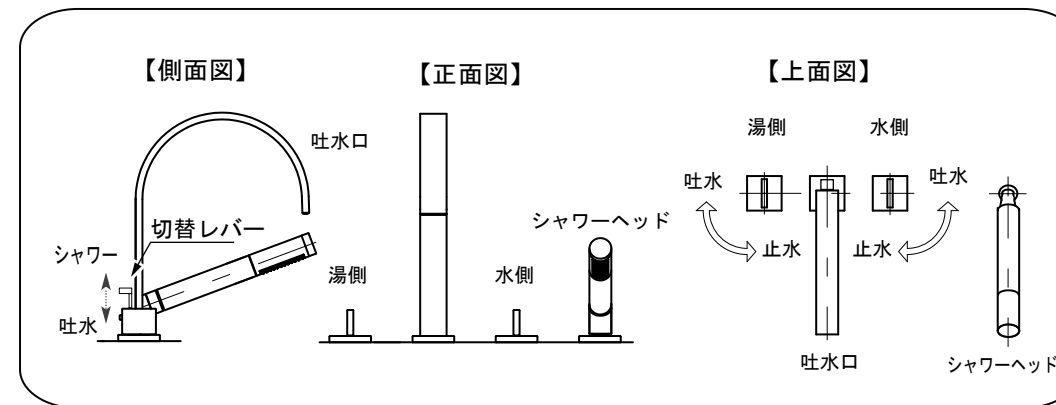


6. 通水確認

施工完了後、必ず接続部から水漏れがないか確認してください。

D 使用方法

外観図

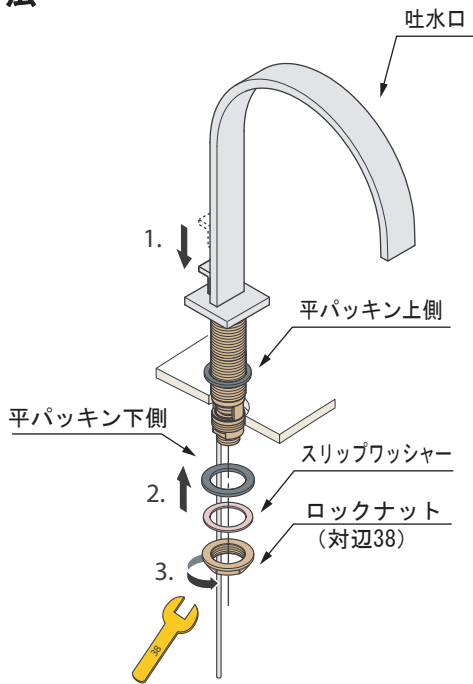


ご使用方法

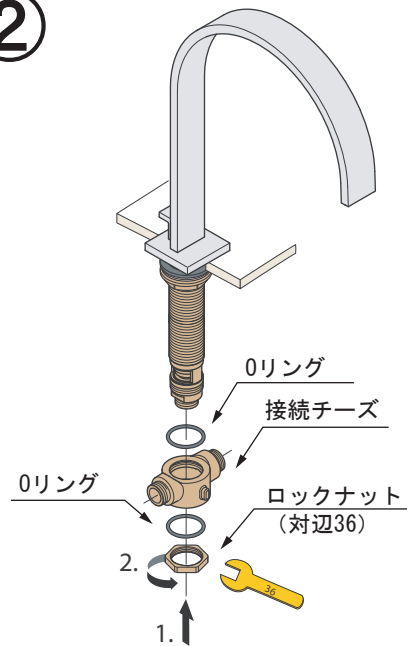
◆湯水開閉栓 <水量調節・温度調節>
湯側・水側それぞれのハンドルを奥側に回すと吐水し、元に戻すと止水となります。温度調整は湯側水側それぞれの吐水量で行います。吐水・シャワーの切替は吐水口後ろの切替レバーが下がっている状態で吐水、上がっている状態でシャワーとなります。

4. 施工方法

①



②

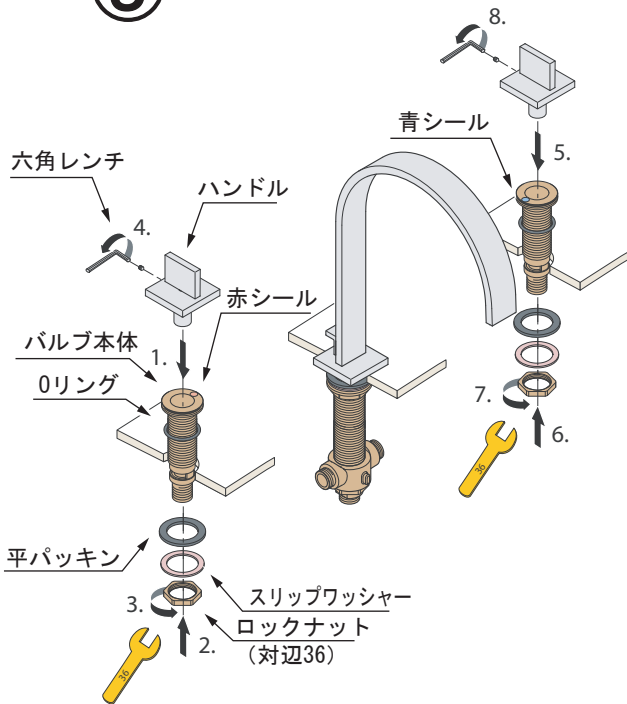


①. 吐水口の取付け

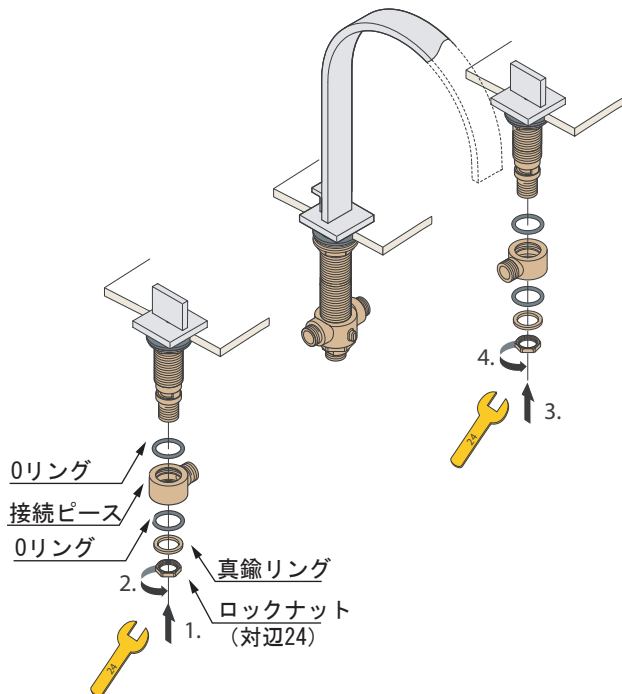
- (1) カウンター開口はφ35です。
- (2) 平パッキン上側（小）を通し、カウンター開口部に差し込みます。
- (3) カウンター下側から平パッキン下側（大）、スリップワッシャー、ロックナットの順に取付け、固定します。

- (2) 吐水口下部にOリングを装着した接続チーズを差込み、ロックナットで固定します。このとき、Oリングにシリコングリス等を塗布すると作業がしやすくなります。
※Oリングを傷つけないように十分注意して作業を行って下さい。Oリングを傷つけると水漏れ等の原因になります。

③



④



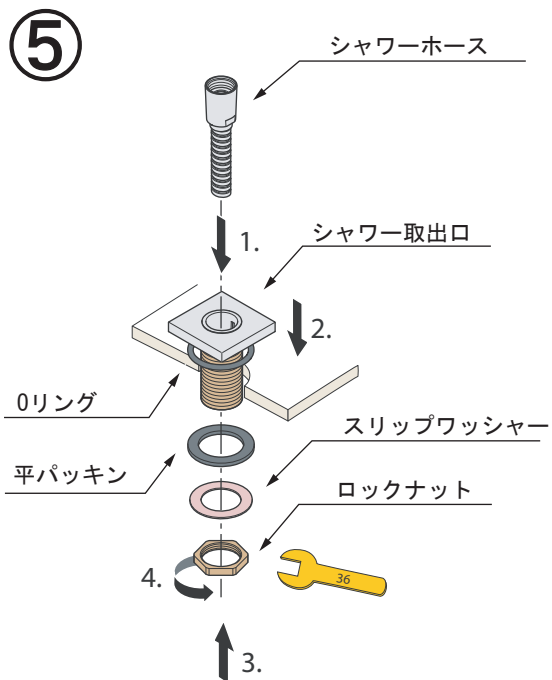
③. バルブの取付け

- (1) カウンター開口はφ35です。
- (2) バルブ本体にOリングを通し、カウンター上部から差し込みます。このとき赤・青のシールがそれぞれ内側を向くように差し込んで下さい。
- (3) カウンター下部より平パッキン、スリップワッシャー、ロックナットの順に取付け、固定します。
- (4) バルブの止水位置でハンドルが正面から見て垂直になる位置にハンドルを差し込みます。
- (5) 1.5ミリの六角レンチを使用し、ハンドルを固定します。

④. バルブの取付け (2)

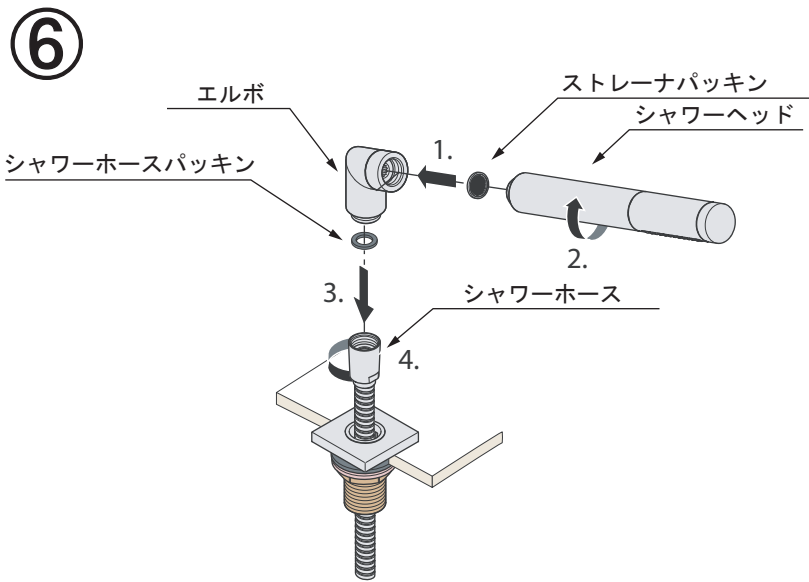
- (1) ②で取付けたバルブ本体の下部へ、内側にOリングを装着した接続ピースを通します。このとき、Oリングにシリコングリス等を塗布すると作業がしやすくなります。
※Oリングを傷つけないように十分注意して作業を行って下さい。Oリングを傷つけると水漏れ等の原因になります。

- (2) 真鍮リング、ロックナットの順に取付け、固定します。



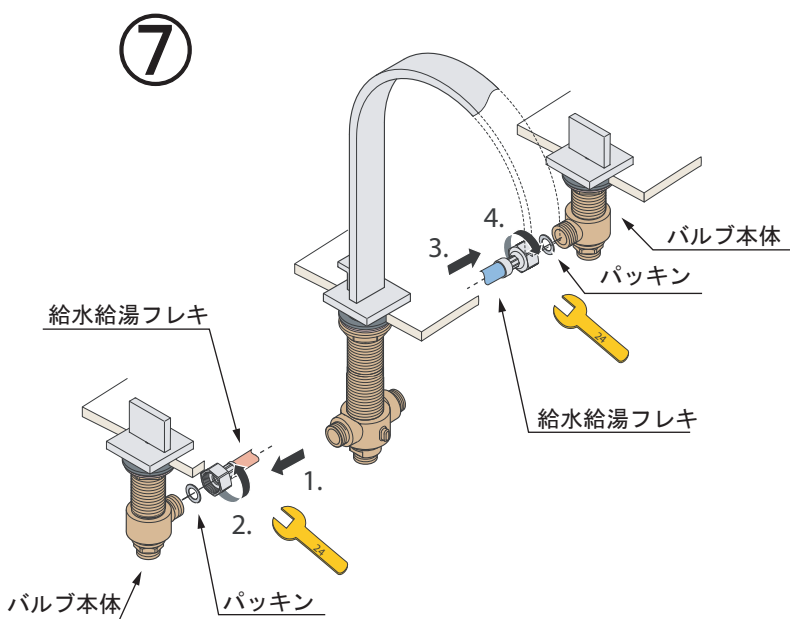
⑤. シャワー取出口の取付け

- (1) シャワー取出口にOリングを通し、カウンター開口部より差し込みます。
- (2) カウンター下部より平パッキン、スリップワッシャー、ロックナットの順に取付け、固定します。
- (3) シャワーホースを取出口に差し込みます。



⑥. シャワーヘッド及びエルボの取付け

- (1) ⑤で差し込んでおいたシャワーホースにシャワーホースパッキンを挟んでエルボをねじ込みます。
 - (2) ①で取付けたエルボにストレーナーパッキンを挟んでシャワーヘッドをねじ込みます。
- このとき、シャワーヘッドのフェイスが正面を向くように取付け位置を調整してください。



⑦. バルブと吐水口の接続

- ③で取付けたバルブと吐水口へ給水給湯フレキにパッキンを挟み確実に接続してください。
- このときフレキホースが折れたり、ねじれたりしないように十分ご注意ください。

